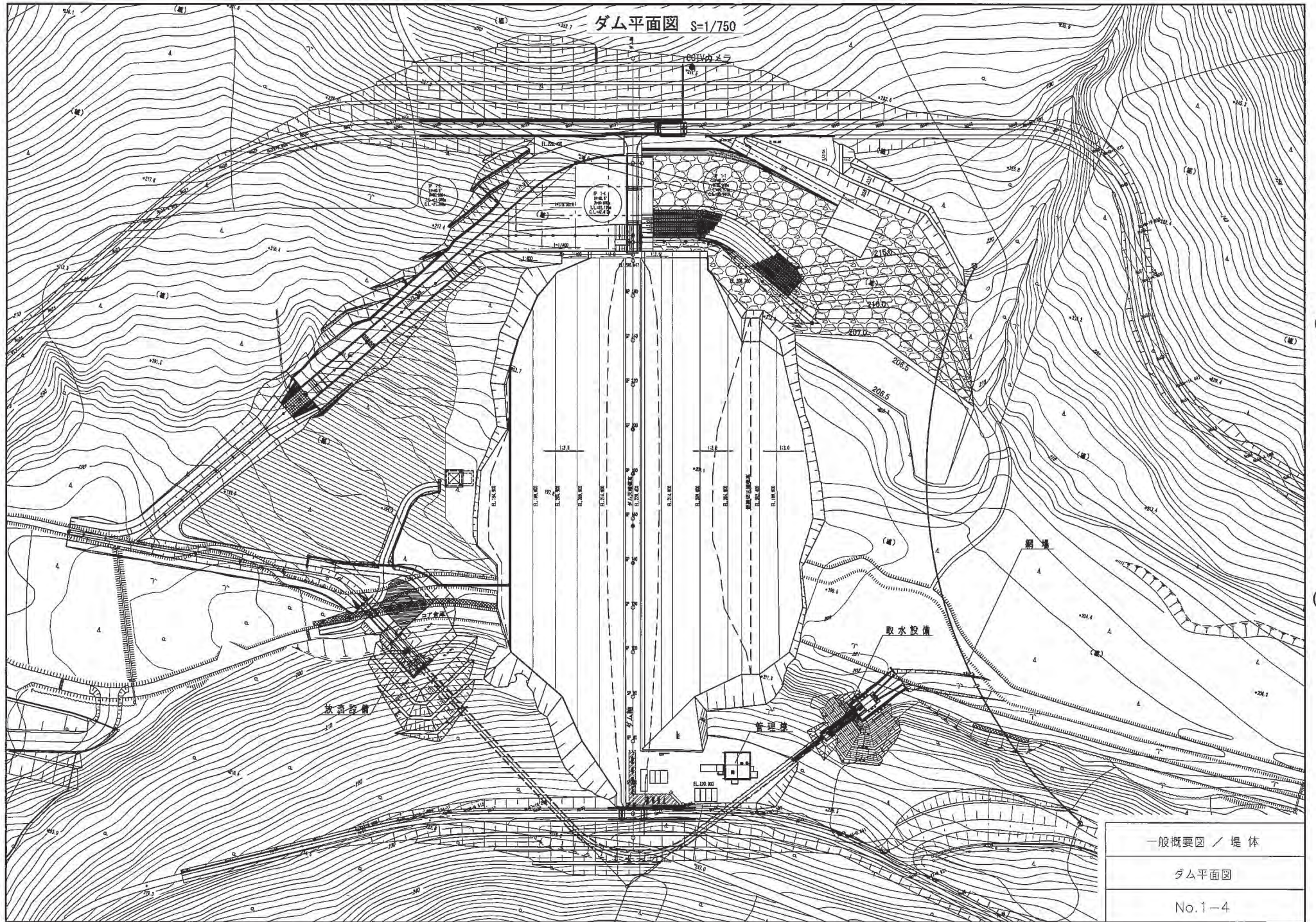


西岡ダム

ダム平面図 S=1/750

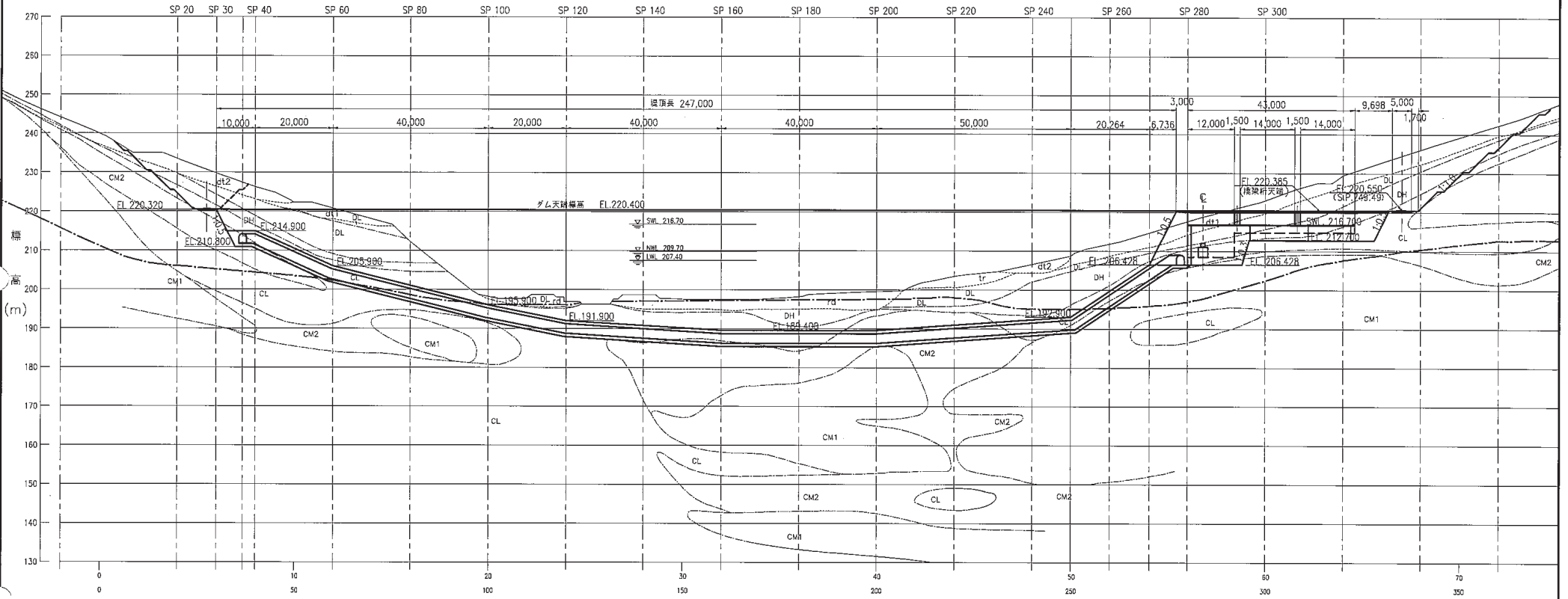


一般概要図 / 堤体

ダム平面図

No.1-4

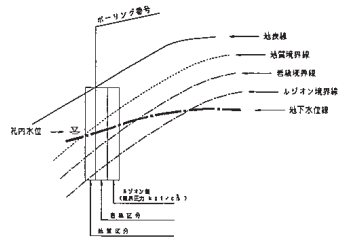
ダム上流面図 S=1/500



地質層序表

時代	地質名	記号	層厚・岩相
30	土	CM	堆積り粘土を主成分とする砂質土。固結度は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	現代堆積物	nd	砂礫よりなり。層厚は5~10cmの礫層を主成分とするが、礫に径50cm以上の礫石を含む。層厚1~2m。
	新期堆積物	fd	砂礫よりなり。層厚は5~10cmの礫層を主成分とするが、礫に径50cm以上の礫石を含む。層厚1~2m。
	前期堆積物	d12	砂礫よりなり。層厚は5~10cmの礫層を主成分とするが、礫に径50cm以上の礫石を含む。層厚1~2m。
31	近代堆積物	dt	砂礫よりなり。層厚は5~10cmの礫層を主成分とするが、礫に径50cm以上の礫石を含む。層厚1~2m。
	古期堆積物	d11	砂礫よりなり。層厚は5~10cmの礫層を主成分とするが、礫に径50cm以上の礫石を含む。層厚1~2m。
32	火山噴出物③	B13	主に径3~5cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は一部に径5cm以上の礫石を含む。層厚は5~10cm。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩②	B12	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩①	B11	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩②	B10	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩①	B9	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
33	凝灰岩①	B8	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩②	B7	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩①	B6	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩②	B5	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
34	凝灰岩①	B4	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩②	B3	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩①	B2	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
35	凝灰岩②	B1	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。
	凝灰岩①	B0	凝灰岩。主に径5~10cmの火山角礫を主成分とする。火山角礫は層厚に依り異なる。層厚は約10m。

凡例



地質区分

記号	地質名
○ ○	現代堆積物
△ △	新期堆積物
▲ ▲	古期堆積物
△ / △	凝灰岩①
△ / △	凝灰岩②
△ / △	凝灰岩③
△ / △	凝灰岩④
△ / △	凝灰岩⑤
△ / △	凝灰岩⑥
△ / △	凝灰岩⑦
△ / △	凝灰岩⑧
△ / △	凝灰岩⑨
△ / △	凝灰岩⑩
△ / △	凝灰岩⑪
△ / △	凝灰岩⑫
△ / △	凝灰岩⑬
△ / △	凝灰岩⑭
△ / △	凝灰岩⑮
△ / △	凝灰岩⑯
△ / △	凝灰岩⑰
△ / △	凝灰岩⑱
△ / △	凝灰岩⑲
△ / △	凝灰岩⑳
△ / △	凝灰岩㉑
△ / △	凝灰岩㉒
△ / △	凝灰岩㉓
△ / △	凝灰岩㉔
△ / △	凝灰岩㉕
△ / △	凝灰岩㉖
△ / △	凝灰岩㉗
△ / △	凝灰岩㉘
△ / △	凝灰岩㉙
△ / △	凝灰岩㉚
△ / △	凝灰岩㉛
△ / △	凝灰岩㉜
△ / △	凝灰岩㉝
△ / △	凝灰岩㉞
△ / △	凝灰岩㉟
△ / △	凝灰岩㊱
△ / △	凝灰岩㊲
△ / △	凝灰岩㊳
△ / △	凝灰岩㊴
△ / △	凝灰岩㊵
△ / △	凝灰岩㊶
△ / △	凝灰岩㊷
△ / △	凝灰岩㊸
△ / △	凝灰岩㊹
△ / △	凝灰岩㊺
△ / △	凝灰岩㊻
△ / △	凝灰岩㊼
△ / △	凝灰岩㊽
△ / △	凝灰岩㊾
△ / △	凝灰岩㊿

岩級区分

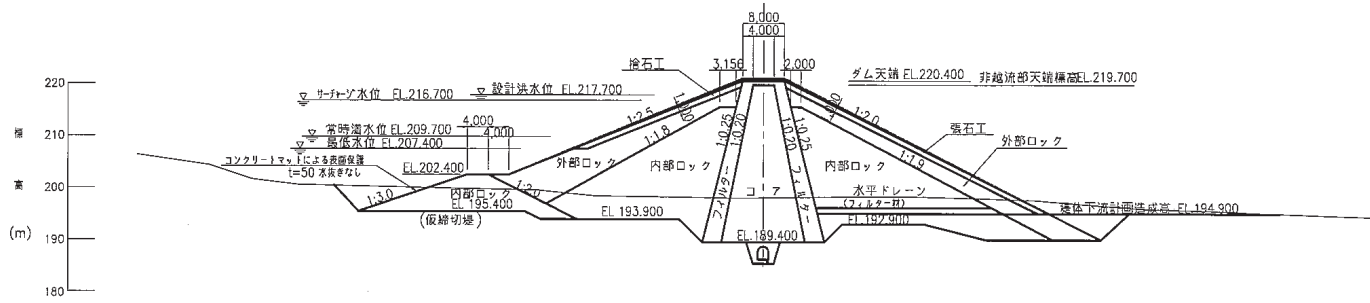
岩級	内容
CM1	新鮮かつ固結度良好で、割れ目の少ない岩盤。割れ目目の風化は認められる。岩体内部まで強い酸化を受けているが、固結度良好な場合を含む。
CM2	新鮮かつ固結度良好だが、割れ目の多い岩盤。または、固結度は若干低下しているが割れ目の少ない岩盤。
CL	風化などにより固結度が低下し、割れ目も発達した岩盤。
DH	強風化または強酸化された土砂状岩盤。角礫状に強風化岩片は固結度を保って残りは良い。岩盤内には明確で、原岩は半分以上失われておりまじりに細粒化している。
DL	強風化または強酸化された土砂状岩盤。砂状、粉土状を示し、著しくルーズである。岩盤は崩壊し、崩壊岩を形成する。

一般概要図 / 堤体

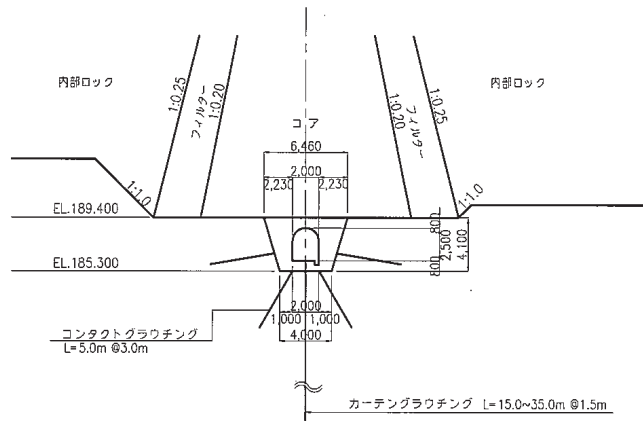
ダム上流面図

No.1-5

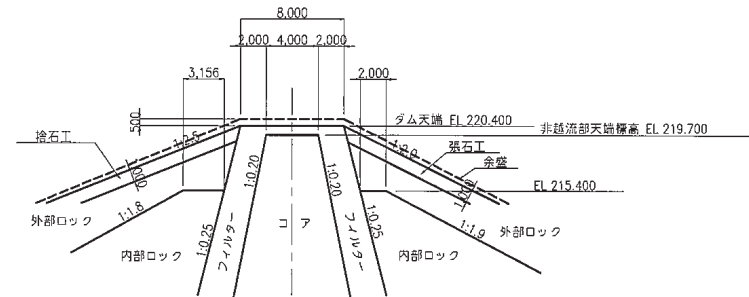
ダム標準断面図 S=1/500



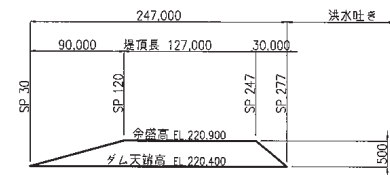
着岩部詳細図 S=1/200



堤頂部詳細図 S=1/200



余盛計画縦断面図 V=1/50 H=1/250

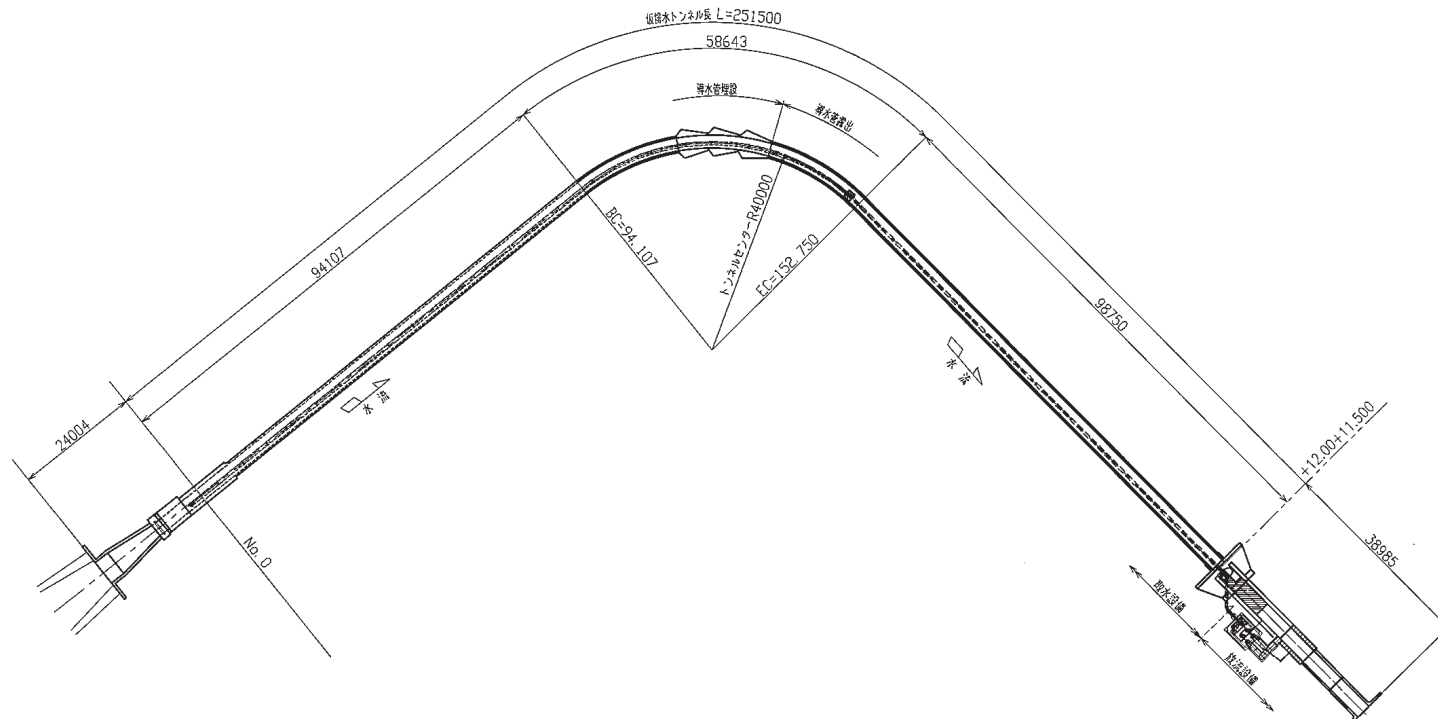


一般概要図 / 堤体

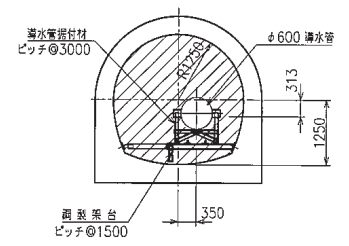
ダム標準断面図

No.1-7

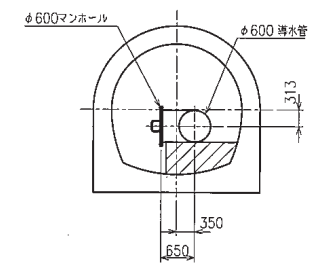
平面図
(S=1:1000)



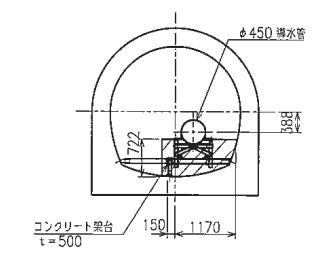
A-A
(S=1:100)



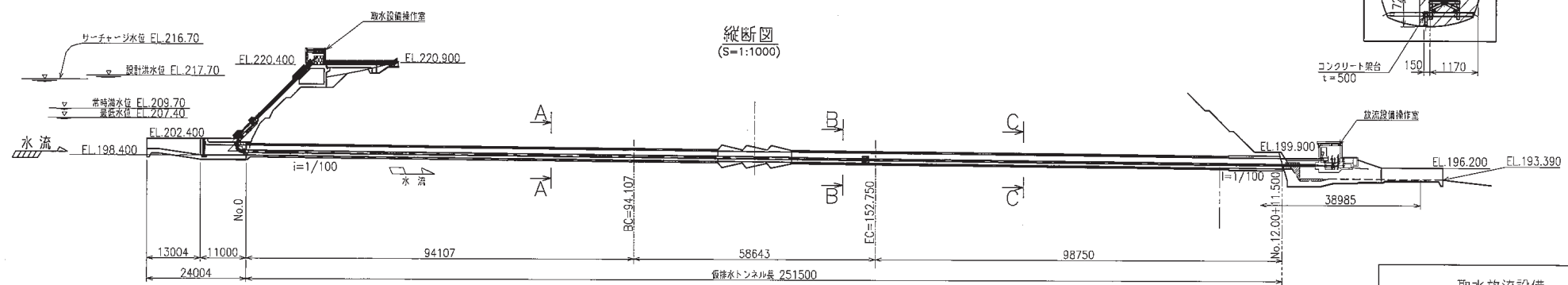
B-B
(S=1:100)



C-C
(S=1:100)

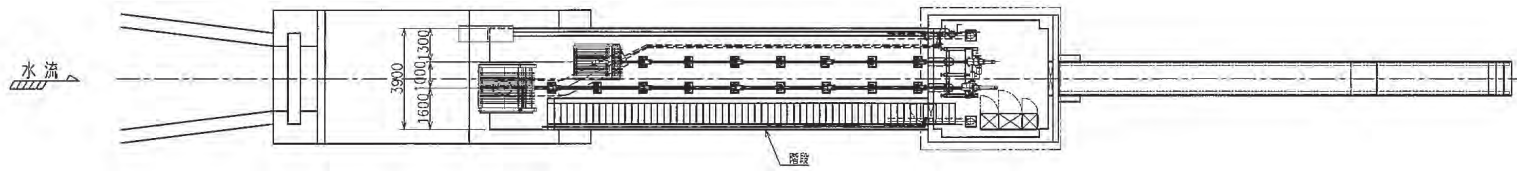


縦断面図
(S=1:1000)

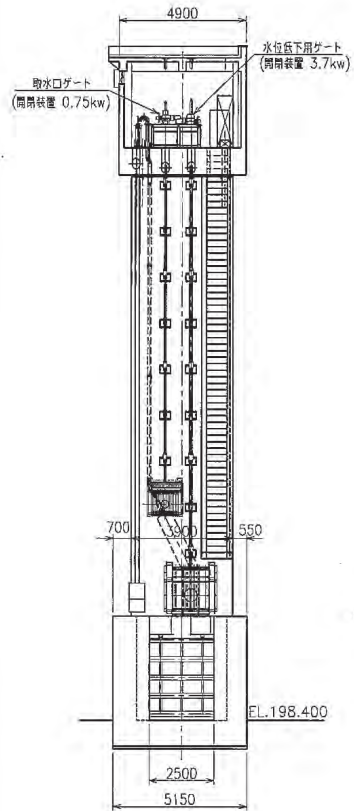


取水放流設備
取水放流設備全体図
No. 8-1

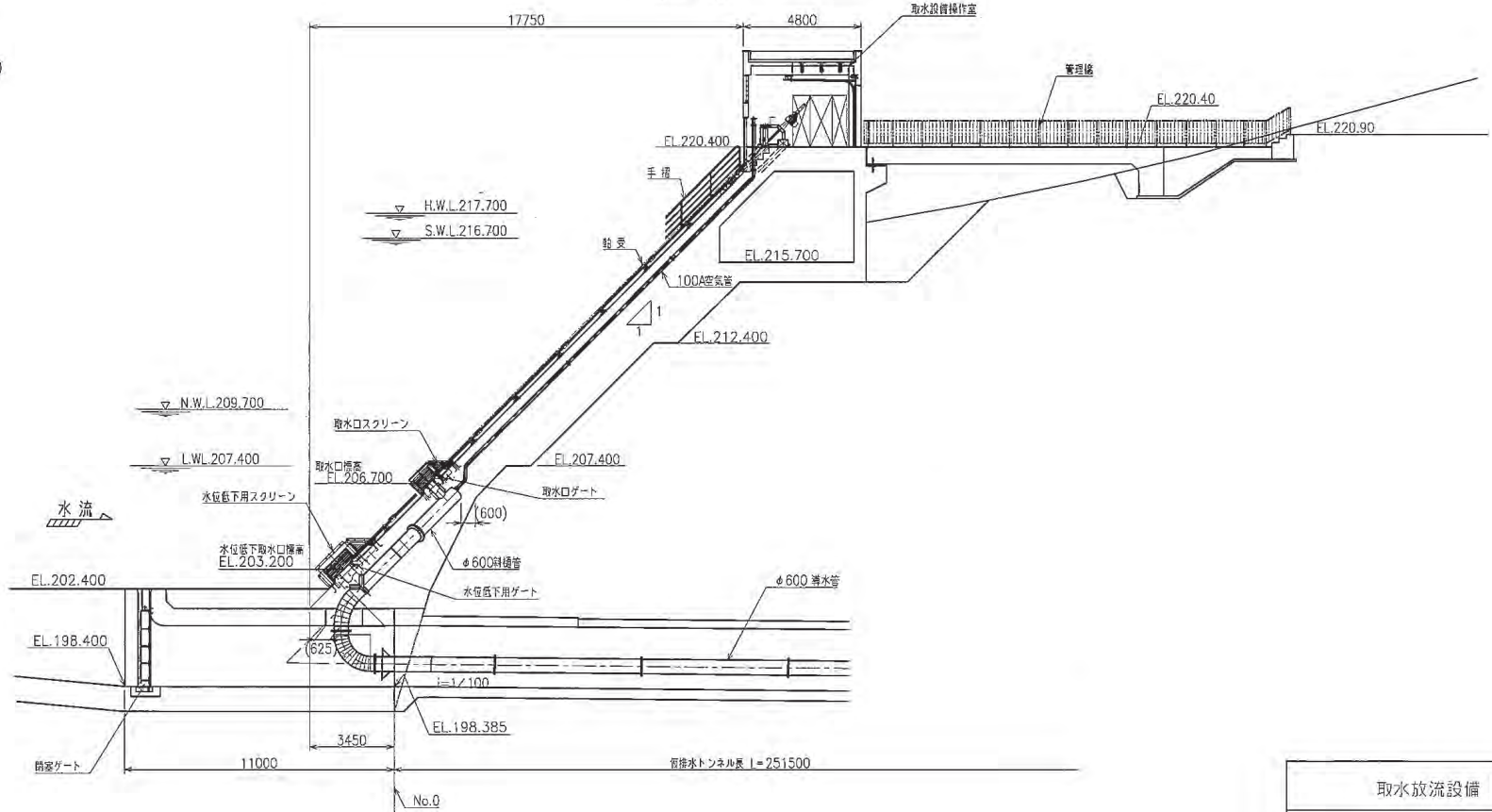
平面図
(S=1:200)



正面図
(S=1:200)



縦断面図
(S=1:200)

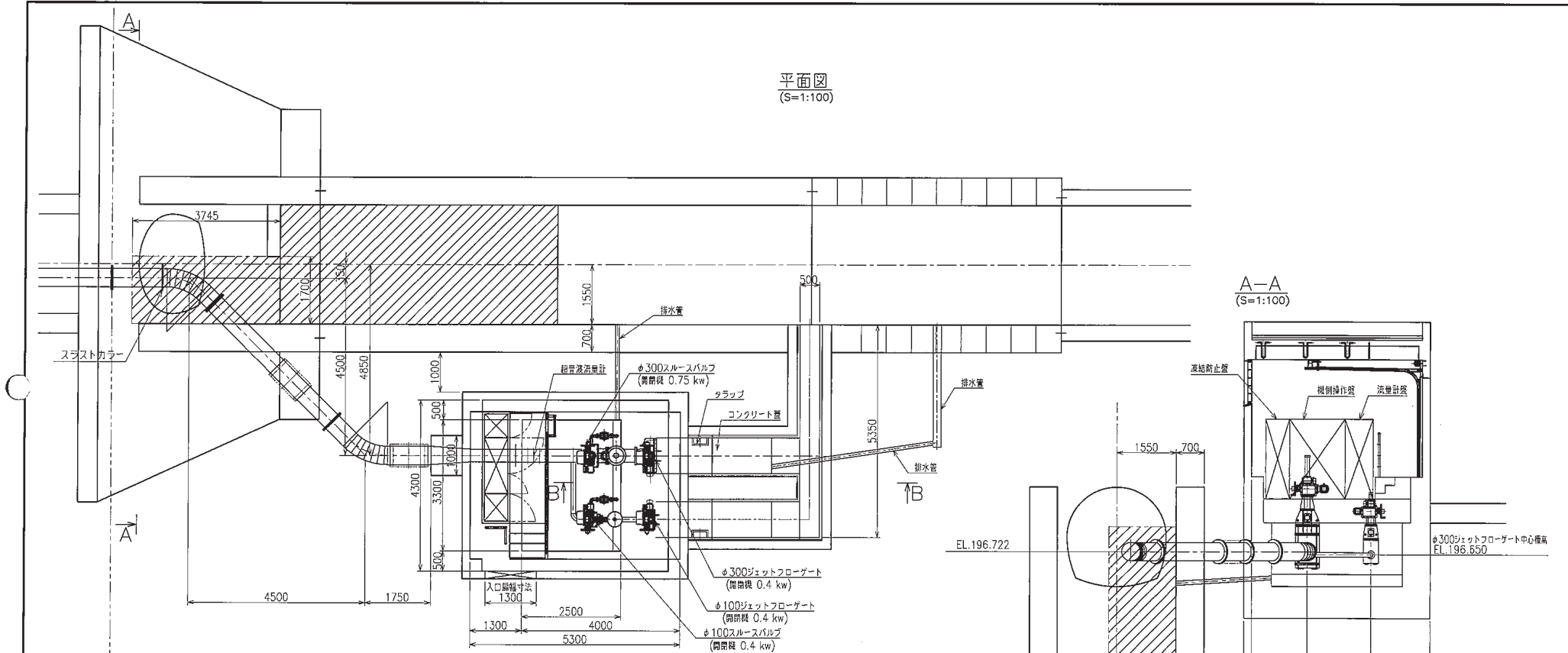


取水放流設備

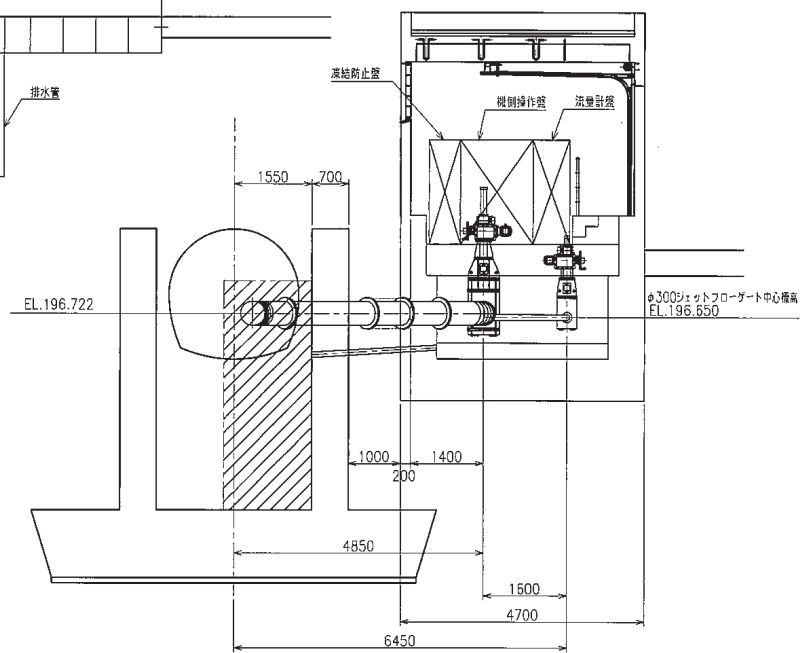
取水設備全体図

No.8-2

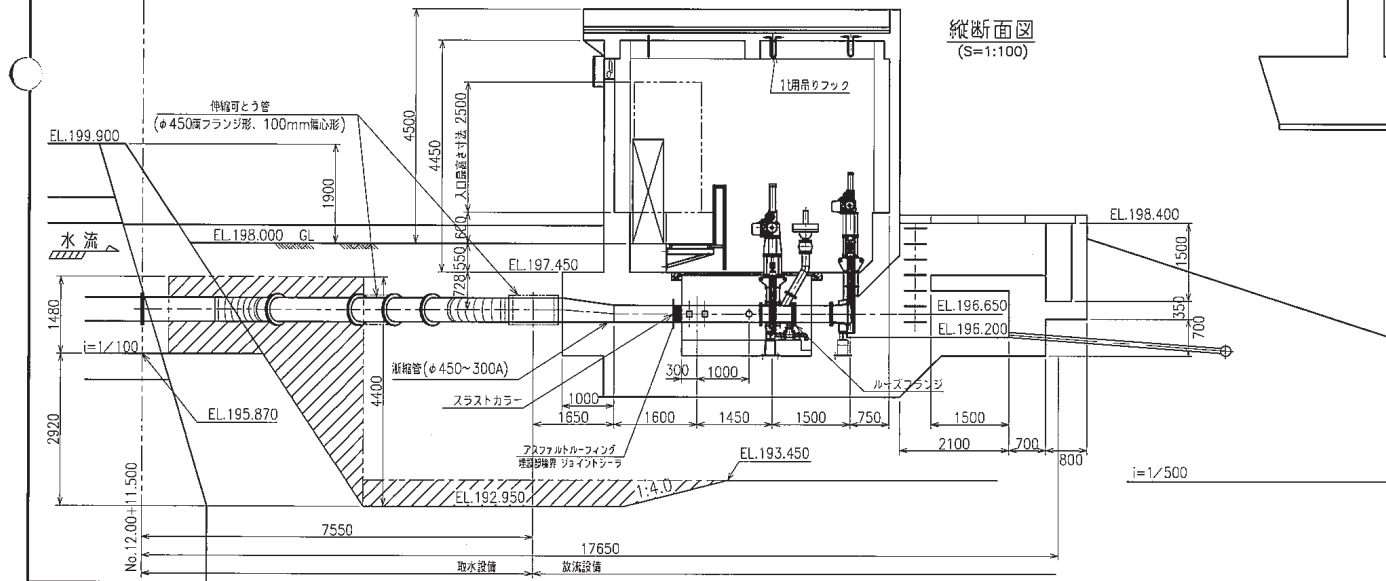
平面図
(S=1:100)



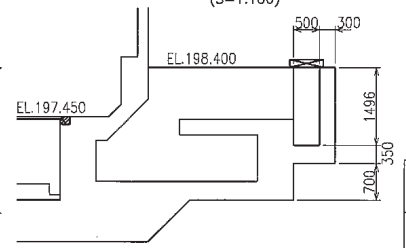
A-A
(S=1:100)



縦断面図
(S=1:100)



B-B
(S=1:100)

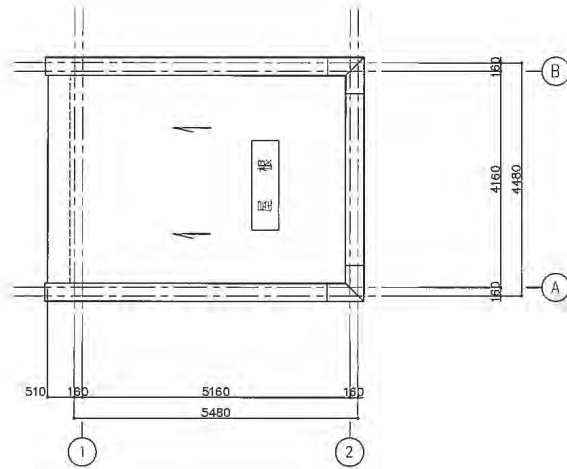


取水放流設備
放流設備全体図

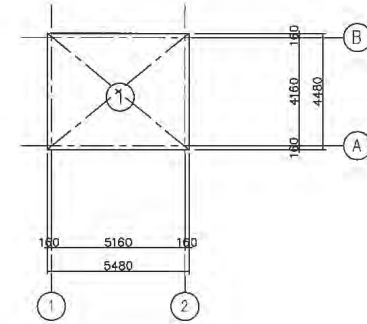
放流設備操作室平面図

外部仕上表		屋根	壁	床	天井	備考	
屋根面	アスファルト防水A1-1	コンクリート打設 (定陸金網入り6.0×100×100)	コンクリート打設しB種 断水処理	コンクリート打設しB種 断水処理	床 目	コンクリート盛ごて (土木工事)	断熱材は発泡ポリスチレンボード厚60とする。
バリアット立上り	アスファルト防水立上げのうえ保麗コンクリート打設し	開口部	アルミサッシ ガラスブロック 断熱扉				
窓 枠	アルミ樹脂製 W=350						
床材目地	ポリエチレン発泡断熱材の打込断熱床下地の上敷炭素繊維材SS						

内部仕上表		床	天井	備考
部位	仕上	床仕上げレベル	天井	
放流設備室	下地 仕上	コンクリート打設し (土木工事)	モルタル盛ごて R100 コンクリート打設しB種	断熱材は発泡ポリスチレンボード厚60とする。



屋根伏図 S=1/100



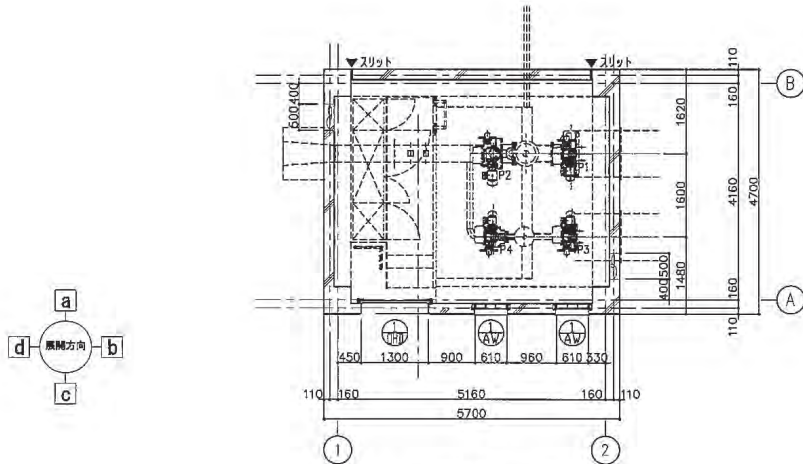
床面積求積図 S=1/200

床面積求積表

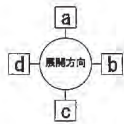
床面積求積表		
①	5.48m × 4.48m	24.55m ²
	合計	24.55m ²

建築面積求積表

建築面積求積表		
①	5.48m × 4.48m	24.55m ²
	合計	24.55m ²



1階平面図 S=1/100

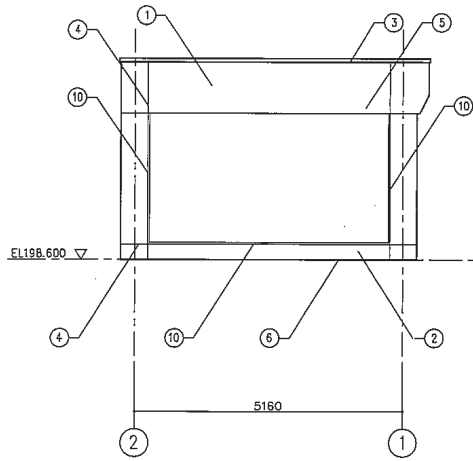


取水放流設備

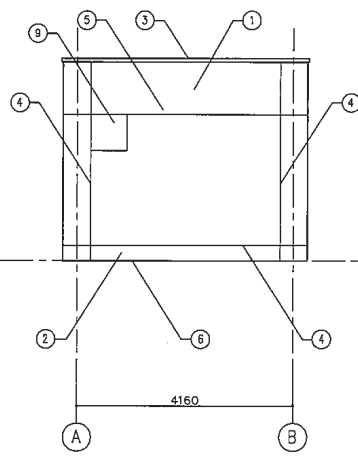
放流設備操作室平面図

No.8-19

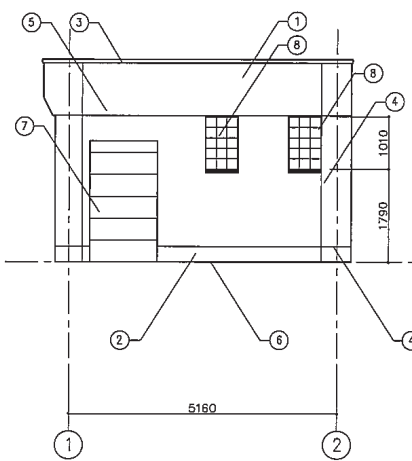
放流設備操作室立・断面図



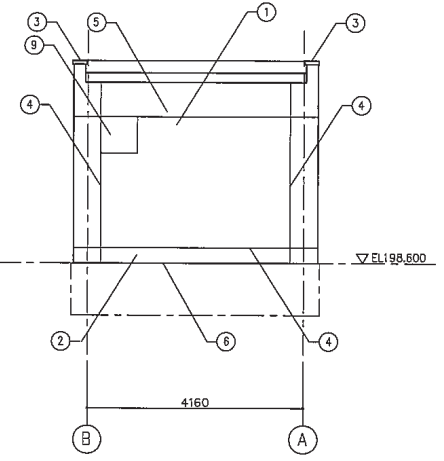
北側立面図 S=1/100



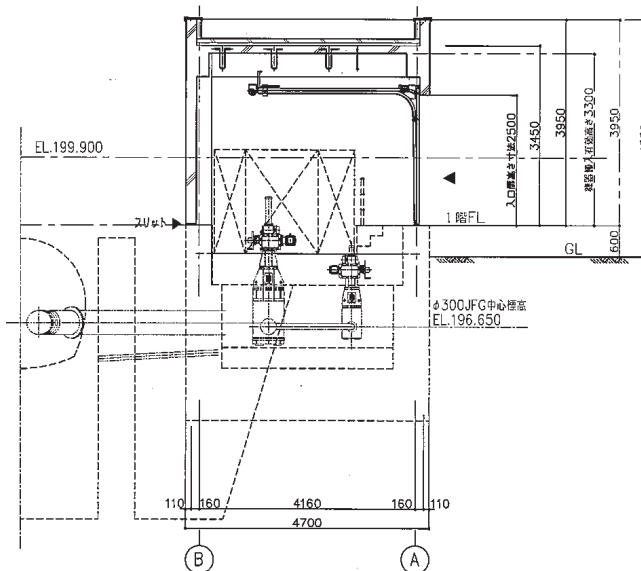
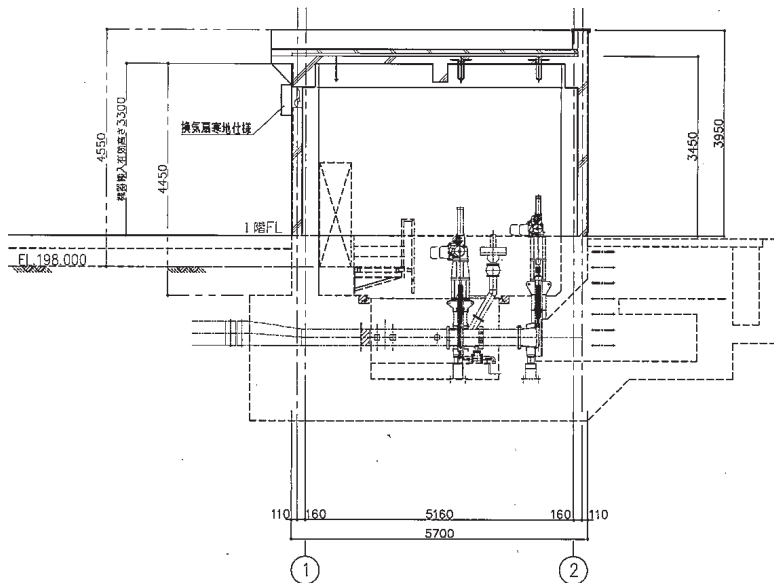
東側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



記号	仕上
①	外壁 : コンクリート打放し 撥水処理
②	床 面 : 打放しコンクリート補修
③	柱 木 : アルミ製 枠-990
④	断熱目地 : 20×20 (シーリング : 20×10)
⑤	化粧目地 : 20×10
⑥	打継目地 : 20×20 (シーリング : 20×10)
⑦	断熱オーバーサイダー (ステンレスタイプ)
⑧	ガラスブロック窓
⑨	換気扇ウェザーカバー (寒冷地仕様)
⑩	構造スリット (シーリング 30×20)

取水放流設備

放流設備操作室立・断面図

No.8-20